

会 議 要 旨

会 議 名	令和3年度 第1回館山市行財政改革委員会
開 催 日	令和3年8月21日(土) 13:40~15:40
開 催 場 所	市役所本館2階会議室(委員:リモート参加)
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 館山市行財政改革委員会委員 8名 ◆ 館山市(事務局) 副市長・総務部長・行革財政課(課長以下5名)
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0名
会議概要・結果等	<p>○副市長あいさつ</p> <p>○協議・情報提供</p> <p>(1) 第3次館山市行財政改革方針の進捗・実績報告 ・令和2年度の行財政改革の取組みについて、事務局より説明。</p> <p>(2) 令和2年度決算概要 ・歳入歳出決算額及び実質収支額、財政推計値と決算額の比較値、各種財政指標等、令和元年度房総半島台風等にかかる決算状況、新型コロナウイルス感染症対応にかかる決算状況について、事務局より説明。</p> <p>【(1)(2)に関する主な委員意見】 (●:委員意見 ⇒:事務局回答)</p> <p>●非常にうまくいっているという印象。例えば給食センターなど、やらねばならない大きな事業で、比較的行革がうまくいっているという印象だが、それでも窮地は変わらないという点が非常に厳しい。</p> <p>●4~5年後の財政調整基金(推計値)が現状より大きく減少する推計となっているが、どのように考えているか。 ⇒令和元年の発災時時点で16億あった財政調整基金が一時的に1億まで減った。安定的な財政運営を図れるだけの額を確保できるよう、行財政改革を進めていく必要があると考えている。</p> <p>●令和2年度の財政調整基金が積みあがった要因はどのように考えているか。 ⇒要因の1つには、新型コロナウイルス関連の補助金をうまく活用するなど、一般財源の支出を抑えることができたことと考えている。</p>

●コロナ禍において、生活保護費があまり増加していない要因と障害者自立支援給付が増加する要因は。

⇒生活保護費については、高齢化や人口減少によるものが主な要因。

障害者自立支援給付については、障害者の通う施設が増加していること、国の制度が広がりサービスが受けやすくなったことなどから、給付費が増加している状況となっている。

●中小企業等事業継続支援給付金は、支出としてどのように反映されているのか。

⇒新型コロナウイルス感染症対応に係る決算状況において、支出内訳として商工費 5.6 億円があり、このうち、中小企業支援に係る事業として支出している。

(3) 情報提供

・公共施設の状況、補助金等の状況について、事務局より説明。

(4) 今後の取組について

・民間提案制度について、事務局より説明。

【(4) に関する主な委員意見】

(●：委員意見 ⇒：事務局回答)

●民間提案制度については、公共施設の運営に限定して考えているのか。
⇒まずは、公共施設の有効活用・効率化から始めたいと考えている。

●最初に取り入れた我孫子市では「提案受付後は、できる限り取り入れる前提」で調整している。魅力的な提案を実現するにはどうしたらよいか、という視点がこの提案制度の成功か失敗かの大きなモノサシ。がんばってほしい。

●じっくり話すことで合意は得られる。情報公開と対話はしっかり行っていただきたい。

●今後の取り組みとして、前向きでよい。館山市側のメリットとして、職員労力の削減という点も事業仕分け時の論点とつながっていて良い。

●民間が協力できることはどんどん進めていけたら。民間の力を借りるっていうのはこの先進めていければ面白いと感じた。

●(委員長総括) 今日の話の中では、前向きな取組として民間提案制度をぜひ進めた方がいいという意見が圧倒的に多かったので、参考にして欲しい。また、意見などあれば今日に限らず、メールなどでも継続して事務局に送って欲しい。